1年 道徳

主題名 優しい気持ち

中心内容項目 B-6 親切、思いやり(主として人との関わりに関すること)

はなばあちゃんがわらった

令和元年 10月 4日 5校時 児 童 1年 2組 18名

授業者 磯谷麻江

1 主題設定について

(1) ねらいとする道徳的価値(教師の価値観)

第1学年及び第2学年の内容の「B-6 親切, 思いやり」は, 「身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること」とある。

相手の立場や心情をよく考え、幼い人、困っている人、 お年寄り等に親切にすることは、大切である。よい人間 関係を築くには、相手に対する思いやりは不可欠である。 また、親切にされたらありがたい、うれしいと思う感情 も大事であり、自分がされてうれしいことは自分もして いくという思いと、行動が広がっていくことが望ましい。

(2)児童の実態(児童観)

1年生の児童は幼児期から抜けきれず、わがままな面があるが、素直で、率直に人に親切にできる時期でもある。

友達が怪我をしたり具合いが悪かったりすると、そばに寄り添い、「大丈夫?」「保健室に一緒に行こうか?」など、友達を気遣う優しい姿が見られる。また、当番活動などで、バケツを重そうに持っているのを見て手伝ったり、牛乳パック開きが残っているのを見て手伝ったりするなど、困っているときに助け合う姿も見られる。

しかし、自分がやりたいことがあると人に譲ることができず、我先にと独り占めしようとする場面が見られたり、友達に嫌なことを言って相手を傷つけたりすることもある。

本単元では、どんなことをしたら相手が嫌な気持ちになるのか、どんなことをしたら相手が喜ぶかをおばあさんと子供たちの行動を通して親切、思いやりについて考えるきっかけとしたい。身近な人々に対して、とりわけお年寄りに対する親切な心に触れ、その大切さと心地よさについて感じ取れるようにしたい。

【事前アンケート】

F-11-11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		
内 容	結 果	
親切にするとはどんなこと だと思いますか。	・お友達に譲る ・手伝ってあげる ・困っているときに助けてあげる ・優しくする ・人を架にする ・大切にする ・人の役に立つ ・大事にする	
人に親切にしたことはあり ますか。 それはどんなときですか。	・やりたいことを譲ってあげた ・おもちゃを貸した ・友達が強んだとき ・人がないてるとき ・パケツを運んでくれた ・トイレの電気をつけてあげる ・席をゆずった ・レゴをつけたあげた ・こぼしたものをふいてあげた ・一緒に帰った	
どうして親切にしたのですか。	・みんなもやりたいから ・大好きだから ・みんな実顔でいてほしいから ・かわいそうだから ・血が出てたから ・ママに言われたから 怒られるから ・先生がいないところでもできるから ・1年生だから ・大変そうだったから ・さみしそうだったから	

(3) 教材への思い(教材観)

本教材では、まず、登場人物のゆうたとまほたちが、なぜ「はなばあちゃん」と呼んでいるかを抑えたい。はなばあちゃんは、花と子供が大好きで、毎朝登校する子供たちを見送ってくれる優しいおばあちゃんの愛称である。そんなはなばあちゃんを子供たちは大好きで、ゆうたとまほを中心にはなばあちゃんを心から案じ、励まそうと実行に移す子供たちの優しさにも気づくようにしたい。最後の場面で、はなばあちゃんが笑って、みんながガッツポーズをするところは、余韻をもって終わるようにしたい。

また、人は互いに助け合い、協力し合って生きている。 その関係を根底で支えているのは、互いの感謝の心であり、 そこには、申し訳ないという気持ちも含まれている場合が ある。友達の思いやりに触れ、それをありがたいと感じ、 素直に受け止めた時感謝の心が表れる。自分が現在あるの は、多くの人に支えられてきたからであることを自覚する よい機会にもしたい。

2 総合単元ユニットとの関係

休み時間やグループ学習、係の当番活動など、学校生活のあらゆる場面において、相手に優しい気持ちをもち、相手を大切に思う気持ちが大切であることを理解し、生活場面でも生かしていこうとする意欲を高める。

3 研究との関り

学び合う雰囲気づくりの工夫

教師と子供の温かい人間関係,子供同士の認め合いや励まし合いのできる関係によって,お互いが心を開き,自由に話し合うことができるようにする。

問題意識をもつようにする導入の工夫

子供が自分の問題として捉え、その追求や解決について必然性をもって行うようにする。



自我関与させる展開の工夫

子供が読み物教材の登場人物に託して自分の考えや気持ちを素直に語る中で、道徳的価値の理解を図る。



生活とつなげる振り返りの工夫

学習内容や学習活動を俯瞰して納得解をまとめることで、自分の生活や行動、今後の発展へとつなぐことに 着眼する機会とする。

4 本時の学習

- (1) 本時のねらい
- ・友達やお年寄りなどに優しい気持ちをもち、相手を大切に思う心情を育てる。

(2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応 (〇発問 ◎中心発問)	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 □評価指標 ◎研修との関わり
価値への方向付け	1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する ○親切にするとはどういうことだと思いますか。 ・優しくしてあげる ・困っている人を助ける ・手伝ってあげる Q人に親切にしたことはありますか。また、どんな親切をしたのですか。 ・けがをしたとき声をかけた ・重い荷物を一緒にもってあげた ・譲ってあげた ◆ ○教材「はなばあちゃんがわらった」を通して、親切にするとはどういうことかを考えまし	●学び合う雰囲気づくりを行う。◎どうして人に親切にできるのか考えさせ、本時の課題に関心や意欲をもたせる。
	よう。 《本時の課題》 どうして親切にできるのかな。 2 教材「はなばあちゃんがわらった」を通して、「課題」を追求する ○毎朝見送ってくれるはなばあちゃんが家から出てこなくて、門にこんな貼り紙があったんだ。これをみたゆうたやまぼは、どんな気持ちになったかな。 「・花を盗まれてかわいそう・家から出てこないということはショックだった」	●物語の中に親切があるので、どんなところが親切か、考えながら読むようにさせる。●「はなどろぼうさんへ」の貼り紙を見せ、花がなくなったせいで朝いなかったことをおさえる。
価値の追求・把握	 ・元気出して ・おばあちゃんが元気になる方法はないかな ○どうしておばあちゃんをそんなに心配するのですか。 ・おばあちゃんは、子供が好きで、毎朝子供たちを見送ってくれるから ・花が好きで、なくなったらかわいそうだから ・子供たちが事故に遭わないか見守ってくれているから ・いつもにこにこなおばあちゃんが好きだから ・毎日あいさつすると元気になれるから 	●はなばあちゃんと子供たちはお互い大好きで、毎日元気に挨拶していることをおさえる。
	 ②どんなことを思いながら花を描いたり作ったりしたと思いますか。 ・これを見たら、本物じゃないけど元気になってくれるかな ・本物のお花はないけど、花の絵を描いたら喜んでくれる ・おばあちゃんが元気になるように、プレゼントしたい ・また笑顔になってほしいな ・これを見たら、また朝会えるようになるかな 	◎どんなことを思いながら花を作ったり書いたりしたかワークシートに書き、話し合う。
`	○花をもらったはなばあちゃんは、どんな気持ちでしょう。・花を作ったり描いたりしてくれてありがとう・優しくしてくれてうれしいよ。ありがとう。・また花が見れてうれしい・一生懸命作ってくれたことがうれしい	●喜びや元気になるだけでなく、相手に感謝の気持ちもわいてくることに気付かせる。
価値の自覚・意欲化	≪共通解≫ 相手のことを大切に思う・優しさの表れ	
意欲化	3 価値について納得解をまとめる ✓ ○アンケートに、こういうことが書いてあったんでけど、どうして親切にできたのですか。 ※アンケートに書いてあることを取り上げ、児童が親切にしたときの気持ちを聞く。 ○今日の学習のまとめを書きましょう。 ※ワークシートに思ったことや感想を書く。	◎子供たちが、学習してきたことと日常生活とのつながりを意識できるように考えさせる。□道徳的実践意欲これから友達に親切にしようと思うことができたか。【ワークシート・発表】

おはの士様・証は・耳体 しの問わし

(3) 本時の評価

・友達やお年寄りなどに優しい気持ちをもち、相手を大切に思う心情を育てる。